

昭和小学校区

HAZARD MAP

多治見市 土砂災害・洪水



家族で考えよう！やってみよう！新しい避難様式

多治見市では、今後発生の恐れがある地震および風水害、土砂災害に対する危険度等を掲載した「多治見市防災ハザードマップ」を作成しました。このハザードマップを利用して災害に対する危機意識を持っていたいだき、災害が発生したときの安全かつ迅速な避難や事前の備えについて、日々から家族や地域の皆さんで話し合いましょう。

【問い合わせ先】多治見市役所 企画部企画防災課

〒507-8703 岐阜県多治見市日ノ出町2丁目15番地 TEL.0572-22-1111(代表)

<https://www.city.tajimi.lg.jp/>

令和3年5月作成

UD FONT

ユニバーサルデザイン(UD)の考え方に基づいたやすらぎデザインの文字を採用しています。

土砂災害とは

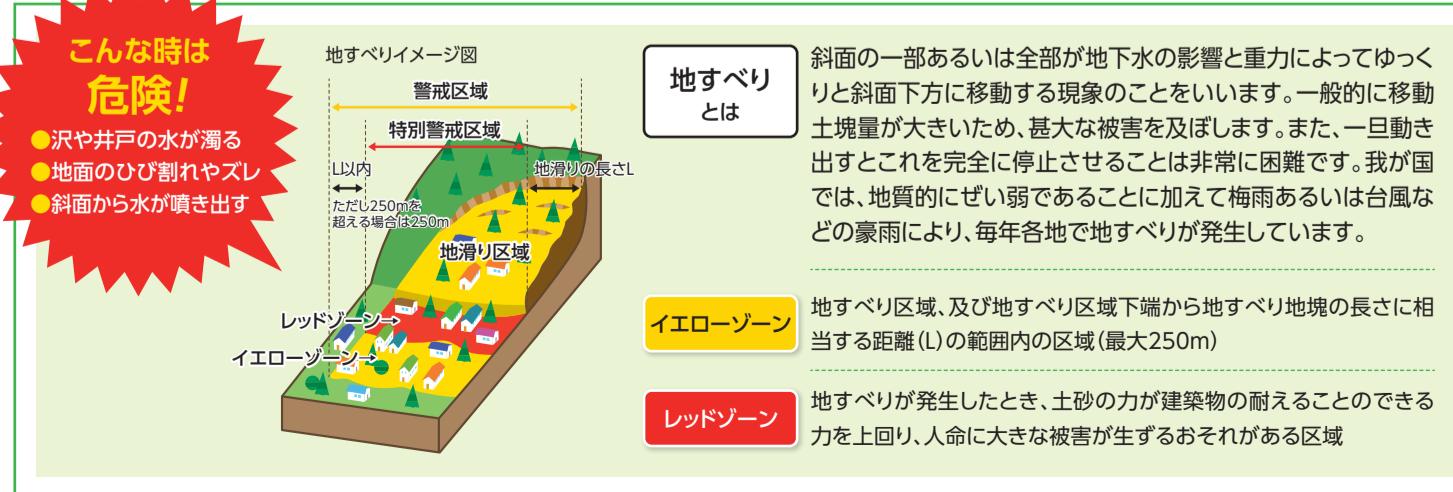
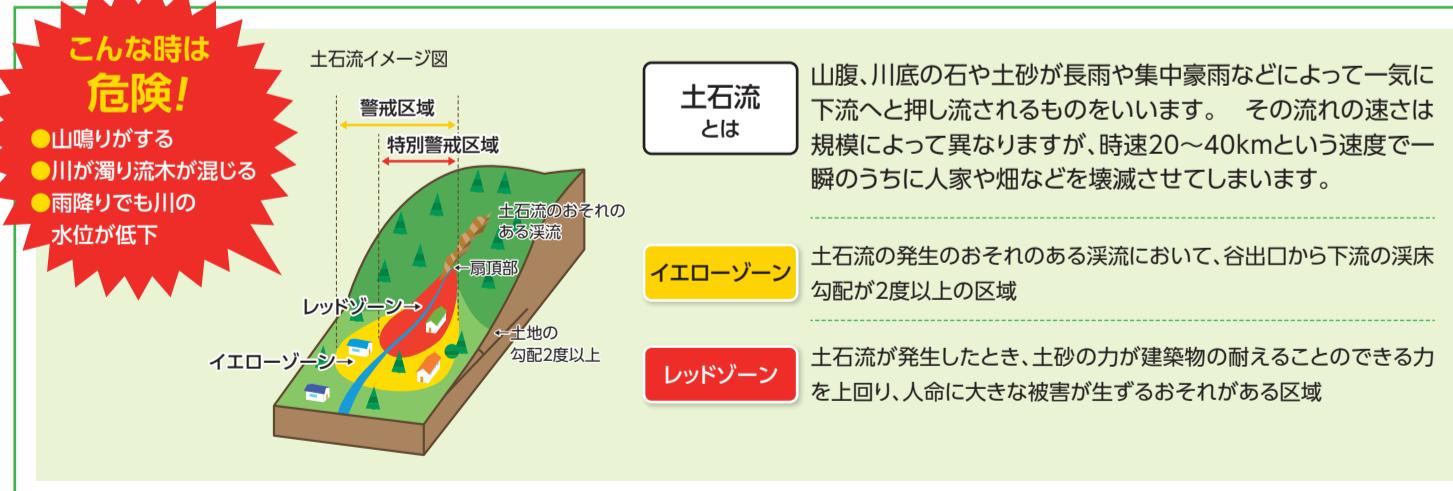
かけ崩れや土石流、地すべりにより、大量の土砂が居住地に流れ込むことで人的・物的被害が生じる災害をいいます。土砂災害が特に発生しやすい場所は、「土砂災害(特別)警戒区域」に指定されています。土砂災害の多くは集中豪雨や台風によって引き起こされます。住まいや移動先がこの土砂災害(特別)警戒区域内にある場合、大雨が予想されるときには細心の注意を払い、早めの判断・行動を行えるようにしておきましょう。

土砂災害警戒区域 (通称:イエローゾーン)

かけ崩れなどが発生した場合に、住民等の命又は身体に著しい被害が生じるおそれがあると認められる区域(この区域では、土砂の流れ込みで、命を落としたり、けがをしたりする可能性が高い)。

土砂災害特別警戒区域 (通称:レッドゾーン)

かけ崩れなどが発生した場合に、建物や構造物に損壊が生じる住民等の命又は身体に著しい被害が生じるおそれがあると認められる区域(この区域では、土砂の流れ込みによる建物の倒壊の可能性が高く、イエローゾーン以上に危険度が高い区域となります)。



避難時の行動・心得

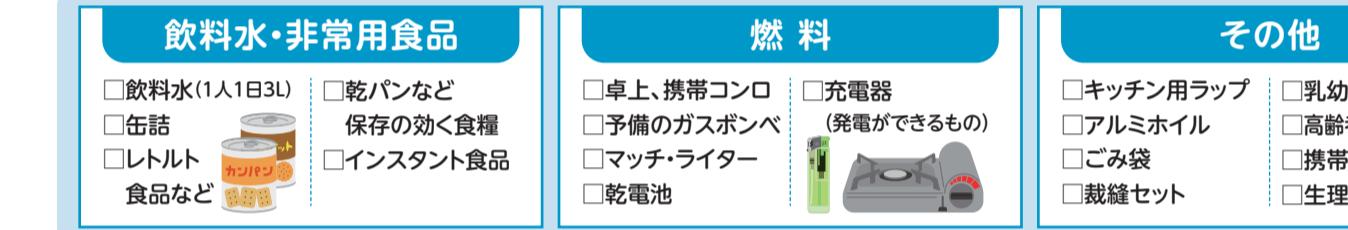
- 早めの避難を心がけましょう
- 避難場所・避難経路・避難方法を確認しましょう
- 要配慮者の安全を第一に
- ご近所に声をかけましょう
- 安全な場所にいる人まで避難場所に行く必要はありません
- 雨雲時や土砂災害の危険がない場合や、堅牢なマンションの上階層で、浸水した水が引ままででき、食料や水、トイレなどの備えができる場合は自分で安全を確保することもできます。
- 避難所における感染症対策
- マスク・アルコール消毒液・体温計などを持参しましょう

「自らの命は自ら守る」意識を持ち、適切な避難行動をとりましょう。

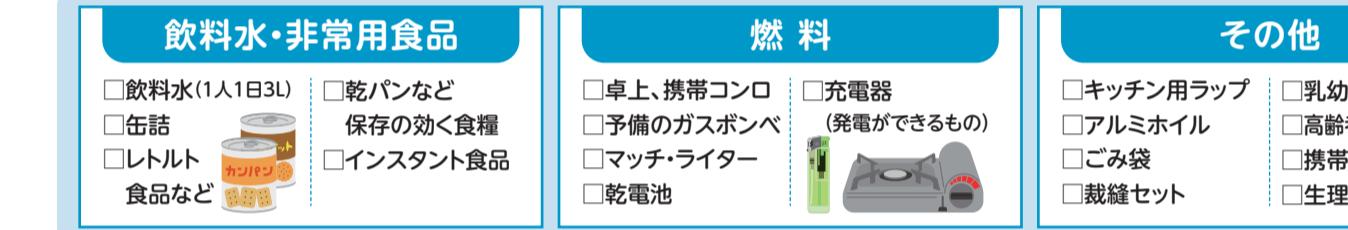
非常持出品・常備品



●非常持出品リスト 避難するときに最初に持ちだすもの例です。



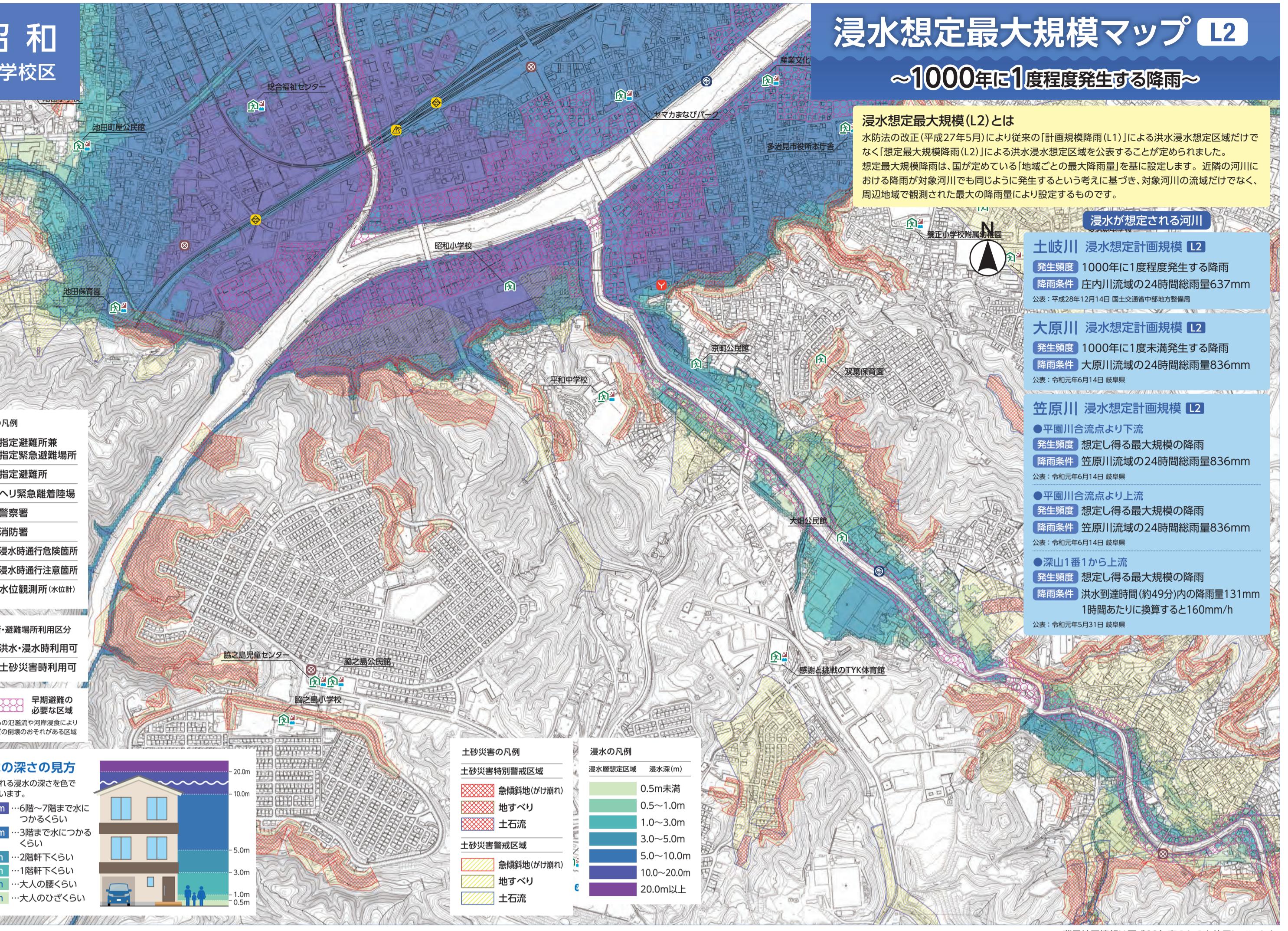
●常備品 災害復旧までの数日間(3日間~1週間程度)生活できるように準備しておくものです。



昭和 小学校区

浸水想定最大規模マップ L2

~1000年に1度程度発生する降雨~

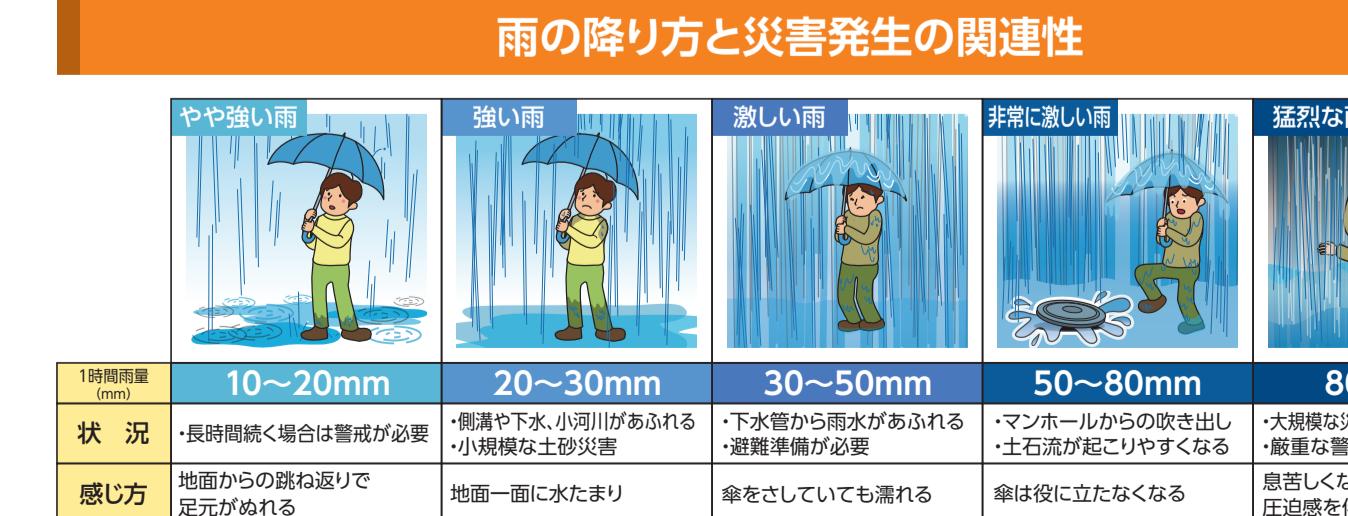


*背景地図情報は平成28年度のものを使用しています。

気象・防災情報等の入手先



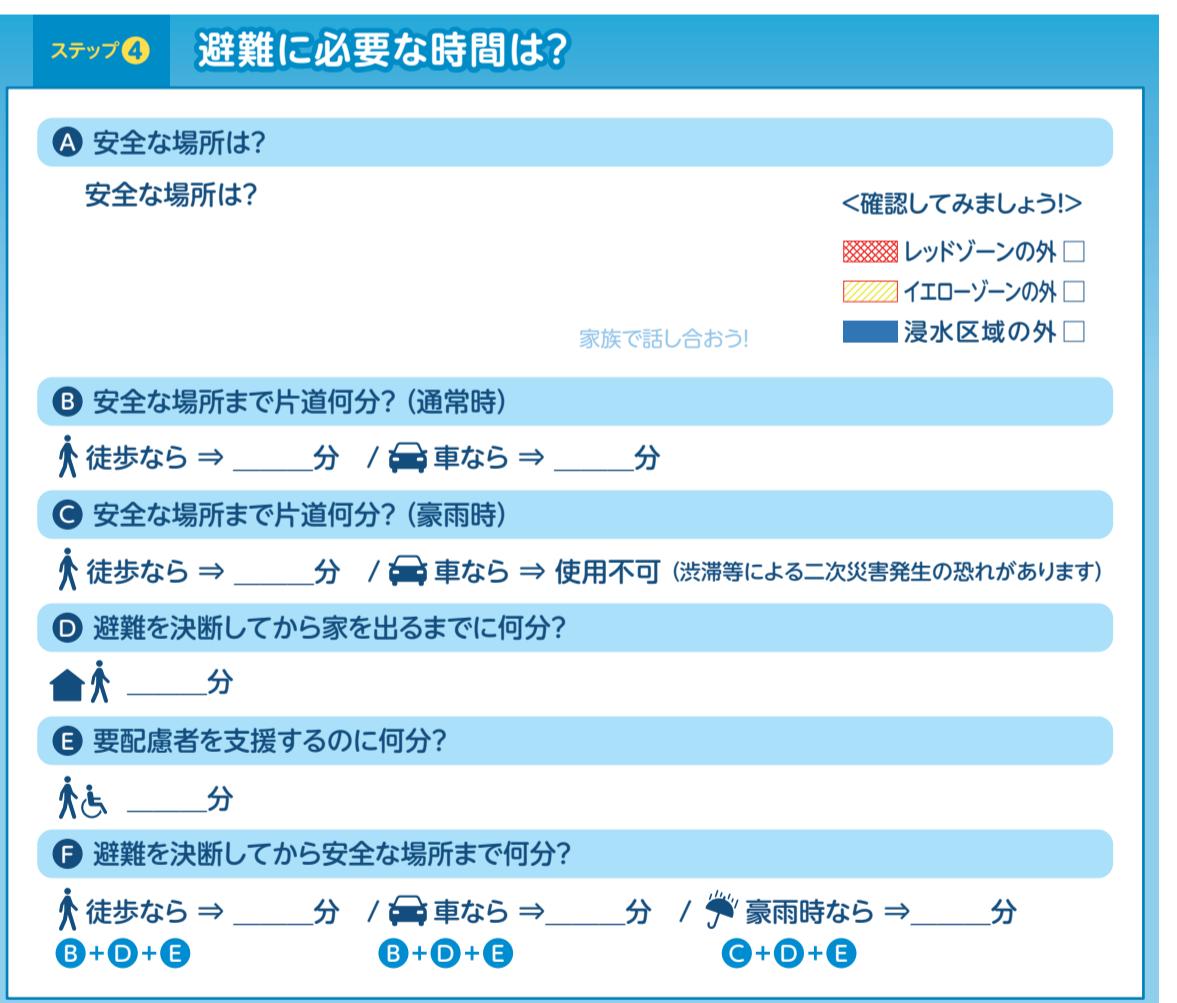
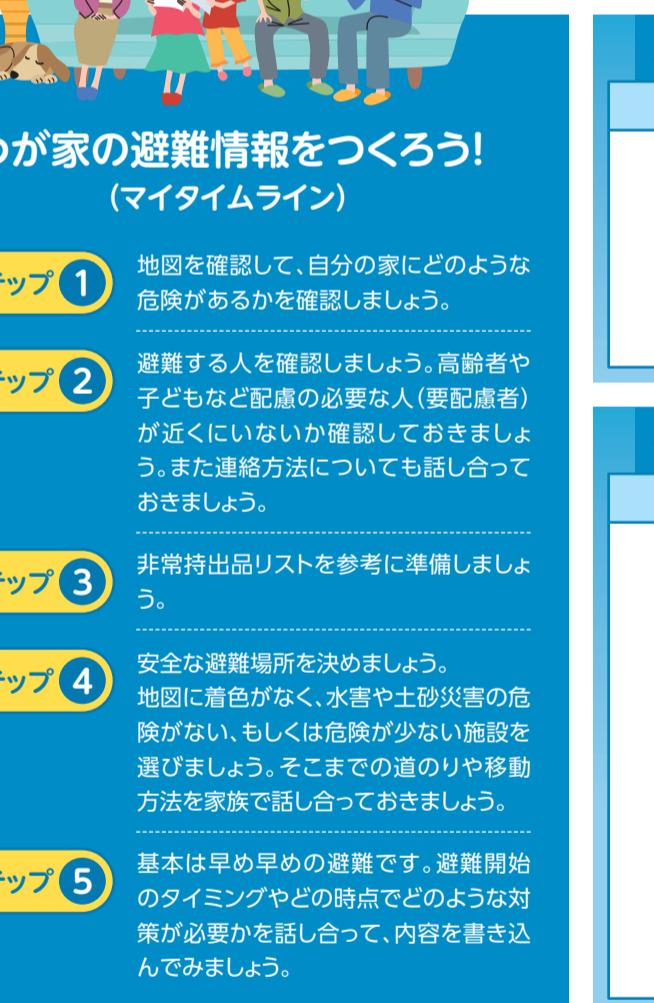
5段階の警戒レベルと命を守るために行動



わが家の避難情報(マイタイムライン)



わが家の避難情報をつくろう！(マイタイムライン)



我が家の避難情報(マイタイムライン)

